

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで令和2年の輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私は昨年の鬼北町議会臨時会におきまして、議長のと微力ではありますが、皆さまのご期待に応えられる議会となるよう、議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいりました。これまでの皆さまの温かいご支援を心より感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、先の西日本豪雨は鬼北町に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われました住民の皆さまに心よりお見舞

い申し上げます。そして、その後より緊急対策や復旧・復興に尽力されました住民の皆さま、鬼北町職員、愛媛県職員、消防団、災害ボランティアや復旧事業関係者の皆さまに敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。さらに、全国から寄せられました義援金、支援金が被災者にとりまして大きな支援となったことは、忘れてはならないことだと思います。

私たちを取り巻く社会は、若者の東京一極集中による地方の人口減少と高齢化で、社会保障費が増大し財源が限られる中、すべての既存の社会資本やサービスを持続・更新していくのは難しい時代となっております。

鬼北町も住民の皆さまの生活を守るため、一生懸命知恵を出して頑張っています。これからは、地域で起きるさまざまな課題を住民参加の共助の力で取

り組まなければならない時代です。その積み重ねにより、「信頼され、連帯する自治体」を構築する必要があります。そして、むやみに人口増を目指すのではなく、「人口が増えなくても、子どもを産み育てやすく、美しい文化や生活のある自治体」を目指すべきではないでしょうか。このような中、長期的な地域の在り方について、住民の中で議論を深めていく必要があります。鬼北町議会では、議会改革の取り組みとして、これまで以上に住民に寄り添う議会を目指し、「住民懇談会」の開催、「議会だより」の発行を計画しています。その目的は、議員自身の資質向上にあり、勉強会や研修会を随時取り入れ、住民を取り巻く問題を共有したいと考えています。そして、この取り組みが町政や住民の力へとつながればと考えています。皆さまには、私たちのこの取り組みにご理解いただき、さらなるご助言、ご協力をいただければ幸いです。

結びになりますが、今年は東京オリンピック・パラリンピックの年、令和の新時代とともに、明るく元気に幸せな一年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

鬼北町議会議長

渡邊 眞次

年頭の

自然、心、暮らし豊